

平成25年度 第1回東浦町文化財保護審議会 会議録

日 時：平成25年6月28日（金） 午後1時30分から午後2時40分

場 所：東浦町郷土資料館 講座室

出席者：石原弘幸・河合美三男・前埜尚子・伊藤岱二・福岡猛志・高部淑子

事務局：稲葉教育長・長坂教育部長・山本生涯学習課長・飯田課長補佐兼文化財係長・楠生涯学習課主査

欠席者：鬼頭秀明

傍聴者：なし

1 あいさつ

会 長

- ・事業実績にもあるように町内に文化財説明板を設置・修繕を行っているが、気付いたところがあれば報告をお願いしたい。

教育長

- ・近年は天候等も不安定であるが、災害等で文化財が被害を受けないよう、町の財産である文化財を守っていきたい。

2 報告事項

(1) 平成24年度郷土資料館事業実績について（資料1）

事務局：資料1により平成24年度の事業実績を報告。

〔質疑・意見交換〕

委 員：町民でも資料館をまだ知らない人が多い。

事務局：家庭の日ポスター展や子育て支援センターのひなまつり会を実施したりと他部署の事業で資料館を使ってもらい、企画展以外にも足を運んでもらえるよう働きかけている。

委 員：文化財補助事業の入海貝塚保存事業であるが、入海貝塚保存会の活動は、年3回程の草取りや木の剪定等を主として実施しているとのことであった。

事務局：資料には実際の事業内容が記されていないので、活動内容も記入するようにしたい。

(2) 今後の主な行事予定（資料2）

事務局：資料2により説明。今年度の文化財消防訓練は、郷土資料館で実施を予定している。

### 3 意見交換会

#### (1) おしゃぐちさんについて

事務局：緒川地区にある昔から地域で信仰され守られてきた石神さんで、祠・鳥居・土塀等も設置された社となっている。小さい境内ではあるが、ムクノ木の大木も生えている場所である。従来は緒川地区の組で守ってきたが、だんだんと維持管理が組だけでは難しくなってきたり、緒川区から地区実態点検の要望・意見としても提出された。地元の有志が保存会を立ち上げて守っていききたいという動きもあるが、地域で守られてきたものについて、今後どのように維持管理していくとよいのか、意見をうかがいたい。また、似たような状況の事例をご存知であればお教え願いたい。

#### 〔質疑・意見交換〕

委員：この組の組長になると、榊や水を定期的に交換するなど世話をする必要があり、境内のムクノ木の維持管理に費用がかかると聞いたことがある。

委員：その場所で保存できれば一番いいが、難しいということであれば、現地に跡地碑を建てて、入海神社に合祀することもやむを得ないのではないか。民俗という説明もできるが、信仰のものを町が管理するのも難しいと思われる。

#### (2) 緒川村郷蔵について

事務局：年貢米の収納や凶作に備えて備蓄する用途で使われた緒川村郷蔵が、緒川の旧道沿いの緒川児童館西に残っているが、その土地について道路拡幅要望が緒川区から地区実態点検の要望・意見として提出された。江戸時代末期に建てられたもので、昔は敷地内の別の地点に建っていたようであるが、明治頃に現在地に移動したようである。この郷蔵の移動について、意見をうかがいたい。

#### 〔質疑・意見交換〕

委員：昔は村々にあった郷蔵であるが、知多半島ではほぼ残っていないので、緒川の郷蔵は貴重なものだと思う。道路拡幅部分移動するにしても、別の場所に移築するにしても、修理等を行う際には記録をとることが必要。もし、部材交換などをする事になっても、過去の部材も展示等で使えるので残しておく方がよい。

委員：数m移動するのも、別の場所に移築するのも、費用は変わらないと思われるが、費用や移築の理由をきちんと説明できるようにしておく必要がある。